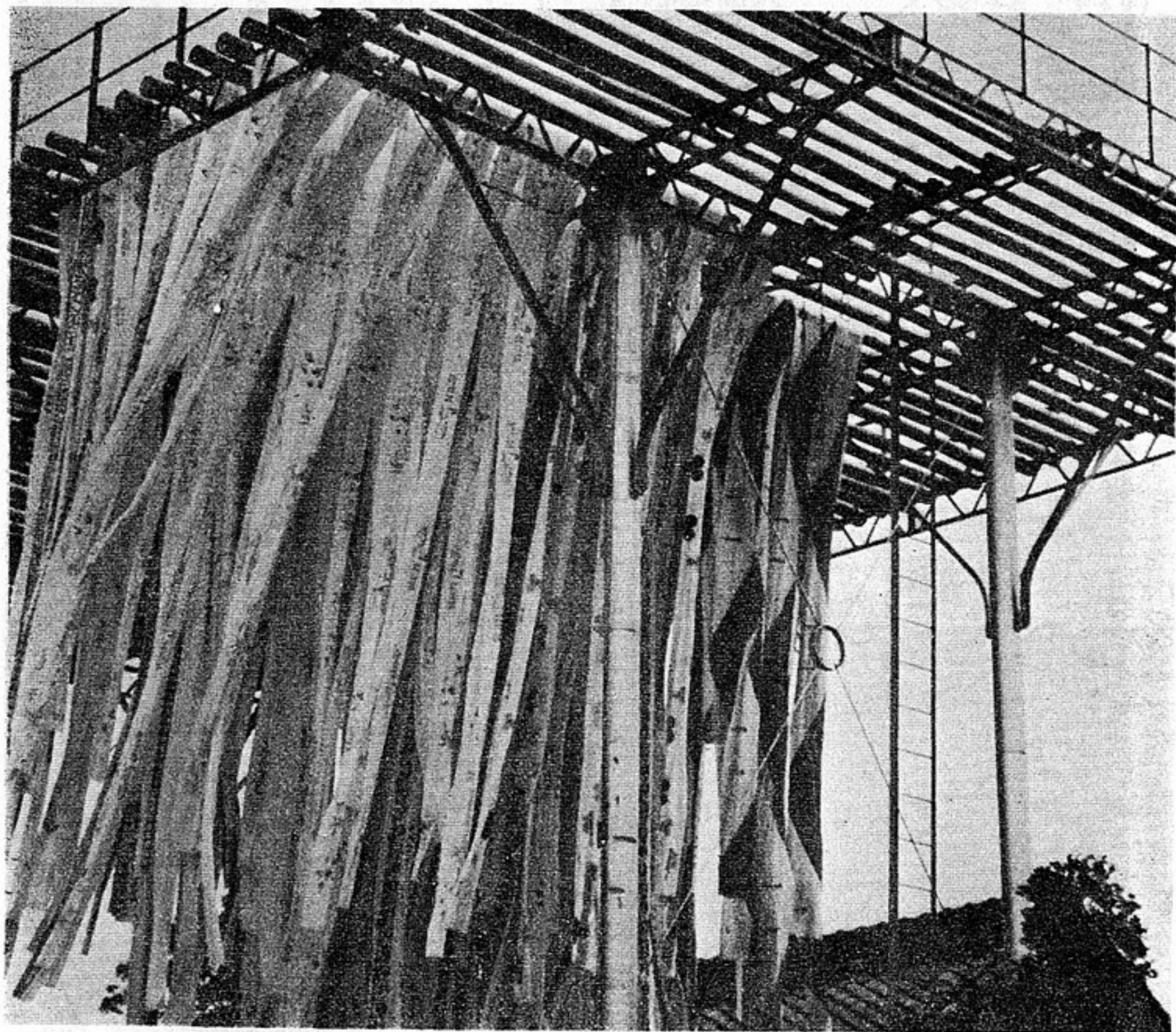



広報

やしお

昭和四十年四月十日
埼玉県南埼玉郡八潮町役場発行
電話(0489) (2) 四一〇一番



町の特産「東京本染ゆかた」の生産は今も盛んだ。やがて来る夏を前に、きれいに染めあがったゆかた地が色とりも美しく春の陽に映えている。

'65 4月
No. 1

佐藤、田中さん優勝

町内卓球大会おわる

教育委員会主催の第五回町内卓球大会が三月七日中学校体育館でおこなわれました。

室内スポーツの花として誰にも参加できる簡単な競技だけに年々参加者の数を増し今年も百三十名をかぞえ、いづれも技術がすぐれ

昨年大活躍をした役場職員選手が一人も見えなかったのは、まことに残念でした。

決勝リーグの結果優勝はつぎのとおりです。

男子

日頃の練習をかさねまた来年、

人事異動

町内の小、中学校の先生の異動

はつぎのようにきまりました。

第一小学校

転出 大山 ふで (第三小に)

新任 萩谷加鶴子 (大学卒)

新任 磯 千恵子 (大学卒)

第二小学校

転出 遊馬トシ子 (東京都に)

転出 秋山 芳雄 (東京都に)

転出 田村 兼子 (三郷町に)

新任 渡辺 信子 (大学卒)

新任 影山 清子 (大学卒)

新任 氏家千恵子 (大学卒)

第三小学校

転出 佐々木妙子 (越ヶ谷市に)

転出 若杉美恵子 (岩槻市に)

転出 新井俊二 (松伏小に)

転入 成沢トキエ (八潮中から)

転入 大山ふで (第一小から)

中学校

転出 数野 武明 (山梨県に)

転出 倉上 明 (大里郡に)

転出 成沢トキエ (第三小に)

転出 中村 孝男 (越谷市に)

新任 内田 武司 (大学卒)

新任 三沢 文人 (大学卒)

新任 鈴木 敏子 (大学卒)

転入 金子 秀衛 (川辺小から)

転入 石出真代 (三郷四小から)

役場職員の人

人事異動

退職者

保健課国保係 金子静江 退職

保健課国保係 小倉正雄 "

保健課衛生係 浅井光雄 "

住民課長 松田権蔵 "

総務課庶務係 飯山良子 "

異動

(土木建築係から税務係に)

小倉 藤子

(税務係から土木係に)

五味田富士子

(第一水道事務所主任から

土木課自動車運転係に)

飯山 正時

新採用

土木建築課 小倉 貞夫

保健課 小倉美代子

税務課 金杉てる子

水道課 豊田 清治

保健課 飯山 光吉

開発公社 豊田 宰美

保健課 篠田 哲夫

水道課 会田 雄二

八潮だよりから「広報やしお」に

公民館事業として町民のみならず、いろいろな角度からの、町のために長い間愛されお目見えしてきた八潮だよりが八十三号をもって終止符をうち役場発行の「広報やしお」に変わりました。

とくに八潮だよりの発行と編集に力を注いでくださった、発行責任者の会田悠治さん、編集長としてご活躍いただいた大山昌吾さん、本場に長い間ご苦労さまでした。また他に十三名の編集委員の方達、報道委員のみなさんご協力を心から感謝いたします。

三村合併前の潮止月報から合併後三十三年に第一号の八潮だよりが発行され当時二、〇〇〇部程度の部数も次第に大きくなり四、〇〇〇部と約二倍に増加しました。そしてそのあゆみの中には優良広報、教育広報としての価値を認められ授賞をうけるなど立派な業績をのこしていただいたことは名譽なことです。

新しく出発する「広報やしお」もこの立派な先駆者のあとをうけついでいくことは仲々困難をとまなうこととおもいます。どうぞ町のみなさんの協力と発行のために多くの人達の参画をお願いいたします。とくに「町のこえ」そのほか

編集関係者は

編集長 小倉 昭良

委員 岩淵 正男

岡田 全弘

会田 文治

加藤市三郎

小沢 万寿

清水 義潔

清水 淑郎

昼間 清治

恩田 仁治

の十名で、役場総務課がこの仕事にあたり、町長の指導とサポートによって毎月発行されることになっていきます。

かさねて、みなさんに親しまれる広報紙にするために、協力をお願いいたします。

陸・海・空自衛官募集

資格 十八才以上二十
五才未満の男子、中学校卒業程度の学力のある者。
募集期間 四月一日から六月三十日
○手続きその他は役場総務課までお問い合わせください。